

式 辞

本日ここに、晴れて卒業の日を迎えられた学部卒業生一五三名の皆さん、大学院課程を修了された十六名の皆さん、別科日本語研修課程を修了された十九名の皆さん、誠におめでとうございます。この佳き日を迎えるまで、皆さんの成長を温かく見守り、支え続けてこられたご家族やご親族の皆様におかれましても、さぞやお喜びのことと存じます。また、本日はご多用のところ、ご来賓の皆様にご臨席を賜り、卒業式ならびに修了式を挙行できますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さんが本学に入学された二〇二二年四月は、新型コロナウイルス感染症の影響により、入学式は三密を避け、学部コースごとに会場を設け、Web会議システムを利用して実施いたしました。その後も、コロナ禍の中で学習環境に制約をうけながら過ごしてきたことと思います。そうした困難な状況を乗り越え、本日、無事に卒業の日を迎えられたことを、学長として、また教職員一同を代表して、心から嬉しく思います。

また大学院修了生の皆さん達も同じ日々を乗り越えて来られました。このパンデミックを通じて、社会の在り方や人々の価値観が、さまざまな場面で大きく変化したことを、皆さんも実感されていることと思います。これまで当然とされ、容易には変わらないと考えられていた授業の形態や入社試験、さらには働き方に至るまで、デジタル技術の急速な進展を背景に、オンラインの活用や在宅勤務が広く定着しました。こうした経験は、「変わらない」と思われていたものも、状況次第で大きく変わり得るのだということ、皆さんに強く印象づけたのではないのでしょうか。そして、その変化の背後には、困難な状況を前向きに捉え、危機を新たな可能性へと転じてきた人々の存在があります。これから社会に羽ばたく皆さんにも、技術や経験を着実に積み重ねながら、変化を恐れず、むしろそれを機会として生かす力を身につけていくことを期待しています。

さて本学は、グリーン・デジタル研究教育拠点の形成を目指し「長崎総合科学大学十年ビジョン」を実行しています。環境と経済の好循環を実現するGX（グリーントランスフォーメーション）と、

社会や産業の在り方を変革するDX（デジタルトランスフォーメーション）を両輪とし、グリーン・デジタル技術を核とした教育・研究に取り組んでいます。

本学で積み重ねてきた多様な学びの成果を統合し、社会へと広く生かすことで、複雑化する社会的課題の解決と、持続可能な社会の実現に貢献することを目指してください。これからは、本学の卒業生として、新しいフィールドで活躍していただき、社会の発展と変革に関わる活動にも積極的に参加していただきたいと思っております。

これから皆さんの前には、新たな舞台が広がり、数多くの可能性とともに、これまで以上に多様で豊かな出会いが待っています。人との出会いは、自らを映し、成長へと導いてくれる大切な財産です。一つ一つの縁を大切にし、感謝の心を忘れずに歩んでいくことで、皆さんの人生はより実り多いものとなることでしょう。

本日、学位記を手にするに至ったのは、皆さん自身の不断の努力の成果であることは申すまでもありません。しかし同時に、その歩みの陰には、日々支え、励まし、見守ってこられたご家族や関係者の皆様の存在があったことを、どうか心に留めていただきたいと思えます。今日という節目の日に、ぜひ感謝の思いを言葉にして伝えてください。

皆さんがそれぞれの道において力強く歩みを進め、充実した人生を切り拓いていかれることを心より祈念し、私からのお祝いの言葉といたします。

令和八年三月十九日

長崎総合科学大学

学長 黒川 不二雄